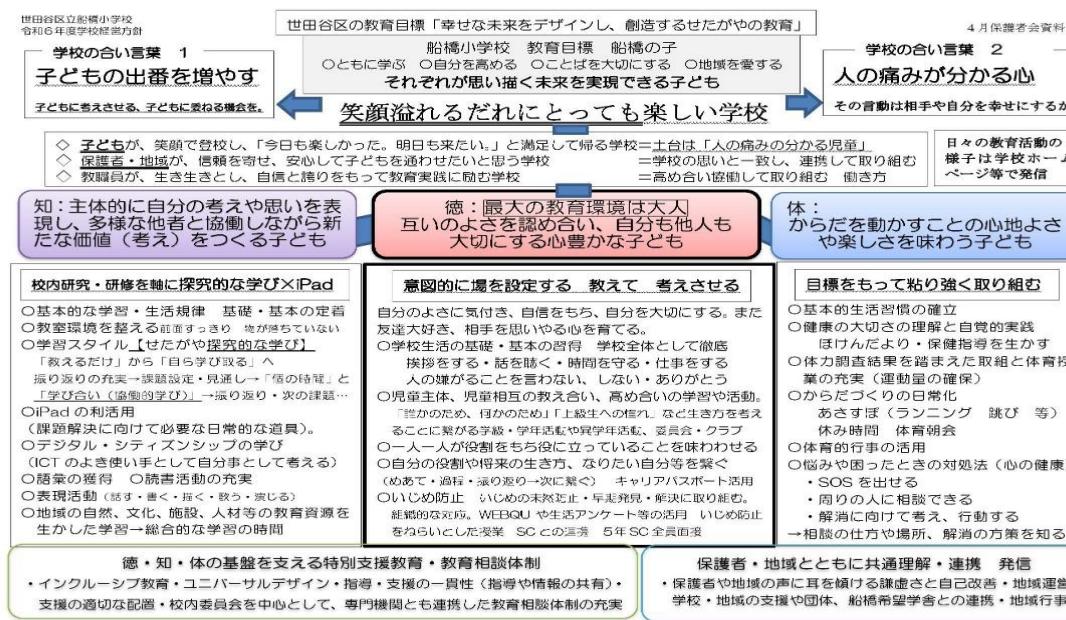


令和6年度の主な取組

①研究の教科を国語科にしほると共に、教育DXを推進し、研究授業、研究発表、研修会等を通して、「探求的な学び」における「協働性」についての研究に取り組み、よりよい授業実践を推進した。

②児童が互いの良さを認め合い、自分も他人も大切にすることで、だれにとっても楽しい学校となるための教育を行った。

③学校生活の基礎・基本を習得し、自分の役割や将来の生き方を意識できる指導を行った。



重点項目①

「探究的な学び」を基礎とした授業実践

関連項目評価結果

児童「先生は、課題について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。」

(結果: 2.01 ↓)

保護者「本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にした授業を行っている。」

(結果: 1.29 ↑)

教員「学習指導では、児童の思っていること考えていることを感じていることを大切にし、意欲がもてるよう工夫して授業を行った」

(結果: 1.50 ↓)

重点項目②

児童理解に基づく「ともに生き力」の育成

関連項目評価結果

児童「わたしは、人の気持ちを大切にしている」 (結果: 1.92 ↓)

保護者「子どもたちは、人の気持ちを大切にして生活している」 (結果: 0.74 ↓)

教員「児童一人一人を大切にして、丁寧に指導した」 (結果: 2.08 ↑)

重点項目③

「豊かな学び」を具現化する自主的・実践的活動の推進

関連項目評価結果

児童「わたしは、よりよい自分になろうと努力している。」 (結果: 2.06 ↑)

保護者「子どもたちは、よりよい自分になろうと努力している。」 (結果: 1.00 ↓)

教員「児童の個性の伸長・健全な心身の育成を通して、児童が自分の生き方、社会の在り方を考え、よりよい自分、よりよい社会の実現を図る力を付けられるように指導した」 (結果: 1.52 ↑)

令和7年度 教育課程編成の方向性（新規重点）

○ 「キャリア・未来デザイン教育」の実現

キャリア教育の視点を意識して、日常生活、各教科、「特別の教科 道徳」、総合的な学習の時間、特別活動を総合的に結び付け、年間指導計画に基づいた指導を行う。

○ 「ともに生きる力の育成」

児童理解に基づき、交流及び共同学習を実施して、多様性を尊重しながら共に学び、共の育つ教育を推進する。

考察

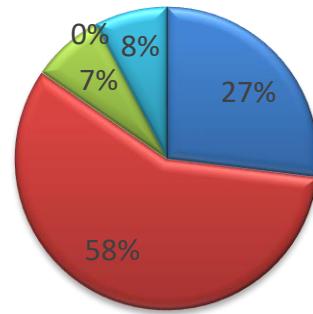
①「探究的な学び」に関して、協働性を重視した授業を行うにあたり、一人一人の児童が自ら課題を解決していく意欲をもてるよう指導を行う必要がある。

②子供が互いの良さを認め合い、自分も他人も大切にできるようにするには、生活指導、特別活動、各教科の指導を通して、心の痛みを理解し共感できる力を育む必要がある。

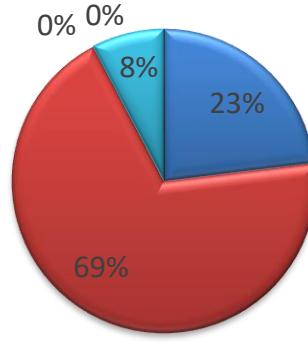
③子ども一人一人の心身の健康や未来を生きる人間関係・社会形成の礎を、自主的実践的な集団活動や地域社会と連携した指導の機会を多く設定し育んでいく必要がある。

学習指導（課題ととらえられる項目）

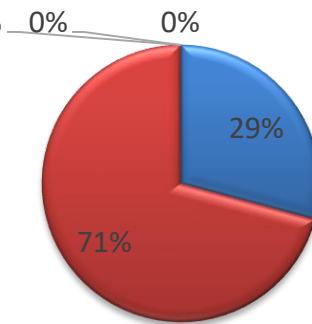
学習指導では、主体的・対話的で深い学びになるように指導した。



学習指導では、児童の思っていること考えていること感じていることを大切にし、意欲が持てるよう工夫して指導した。

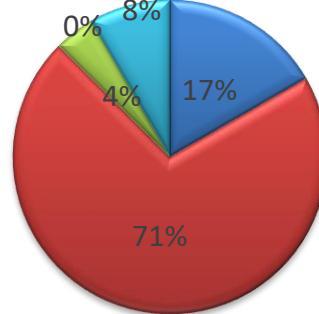


学習指導では、児童の実態に合わせて板書の仕方やワークシートの作り方等、個に対応する工夫をした。

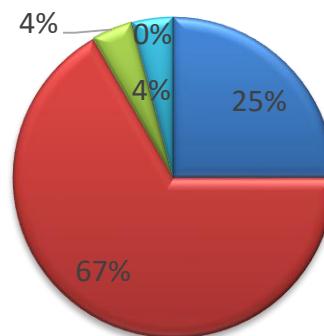


教職員について（課題ととらえられる項目）

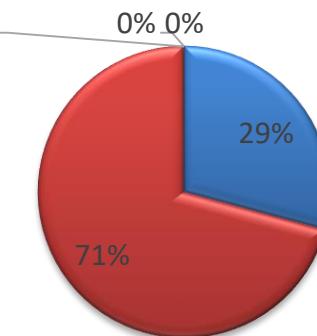
保護者が相談しやすい環境を整え、相談等に丁寧に対応した。



働き方改革を意識し、協働的、効率的に校務を行った。



児童が相談しやすい環境を整えた



令和7年度の取組の方向性

○「探求的な学びを意識した授業実践」

「探求的な学び」の視点から教育DXを推進する。他者と協働しながら新たな価値を創造する授業づくりを推進する。

○「共に協力して働き、児童・保護者・地域に信頼される学校」

教職員それぞれの個性を生かし、協力し合って働くことで、児童・保護者・地域とのコミュニケーションを円滑にし、保護者・地域と共に一人一人の子どもを大切にし、育てる学校にしていく。

- A (とても思う)
- B (思う)
- C (あまり思わない)
- D (思わない)
- E (分からぬ)